



都 筑 区

DATA (平成21年4月1日)

【設置年月日】平成6年11月6日

【区 の 人 口】196,387人

【区 の 世 帯 数】74,127

【面 積】27.88km²

【区の木】

(里山の木) ヤマモミジ、

ヤマザクラ、コナラ、シデ

(人里の木) サルスベリ、モクセイ、ウメ



地球環境にやさしいまちづくりイベント

様々な活動を行っている区民と協働で、ヒートアイランド現象の緩和や地球温暖化防止に向けた行動の啓発イベントとして、打ち水やキャンドルナイトのイベント、緑のカーテンづくりを実施しました。



●打ち水イベント

雨水やお風呂の残り水を使って、夏の暑さを和らげ、自然の力で涼しく過ごす打ち水イベントを行いました。

●キャンドルナイト

電気を消してキャンドルを灯し、エネルギーの大切さや地球環境について考えるキャンドルナイトのイベントでは、区内商業施設をライトダウンすると同時に、キャンドルの入った紙袋を持ち歩く「キャンドルウォーク」を行い、幻想的な雰囲気の中、キャンドルの灯りを楽しみました。



●緑のカーテン

自然の力で夏を涼しくするため、モニター区民に区内農家が育ててくれたゴーヤの苗を配布し、自宅の庭やベランダで目にも鮮やかな「緑のカーテン」づくりに取り組んでももらいました。10月下旬～11月には、区役所にて小学校での取組とあわせて栽培結果報告の展示を行いました。

「都筑区北部 水と緑の散策マップ」発行

区民の方や区外から都筑区を訪れた方に、広く都筑区北部地域の貴重な水と緑の環境資源やささまざまな魅力を知っていただき、将来に残していくことを目的として、散策マップを作成しました。



ローザ・つづきく苗木の育成

フランスとの国際交流から生まれた新種のバラ「ローザ・つづきく」を普及させるため、区民ボランティア団体と協働で挿し木を行いました。





戸塚区

DATA (平成21年4月1日)

【設置年月日】 昭和14年4月1日

【区の人口】 272,248人

【区の世帯数】 108,494

【面積】 35.70km²

【区の花】 桜



戸塚区における地球温暖化対策の取組

戸塚区では平成19年度から「とつか緑と暮らそうキャンペーン」を実施し、区民と協働で植樹や苗木配布を行うことで、多くの区民が緑に親しむと同時に緑化の重要性を認識しています。

キャンペーンは平成21年度で終了しますが、この取組を将来にわたって続けていくため、次世代を担う児童・生徒に浸透させていくことが必要です。そこで、環境教育の一環として、挿し木体験学習を行い、校舎への緑のカーテンの設置や屋上緑化を実施しました。

児童・生徒の素朴な感動が、今後の地球温暖化防止のための行動に大きくつながっていくと考えています。



苗木植樹本数 約5千本 (協働植樹及び区民自身による植樹)
 苗木配布本数 約8千本 (配布後区民が独自に植樹した数含む)
 挿し木教室 7回開催 (参加児童 550人)



区民祭りで植樹用苗木を配布
(平成 20.11.3)



舞岡川管理用通路脇への植樹
(平成 21.2.19)



戸塚桜セーバーと戸塚小学校児童による
堆肥づくり (平成 20.12.3)



地球温暖化のメカニズムと温暖化を防ぐための方法について、スライドを用いた学習会及び、小学校児童を対象とした挿し木体験学習 (平成 20.6.25 ~ 7.11)

「緑のカーテン」シリーズ



鳥が丘小学校 (涼しい回廊)



柏尾小学校
(2階の窓まで覆ってみました)



戸塚高校 (これを機会に「グリーンカーテン友の会」が発足)



区役所玄関でも区民向けにPR



倉田小学校の屋上緑化
(階下の教室はかなり涼しくなりました)

栄区

DATA (平成21年4月1日)

【設置年月日】昭和61年11月3日

【面積】18.55km²

【区の人口】124,740人

【区の花】キク

【区の世帯数】50,098



人と地球にやさしいまちづくり

栄区水みどり魅力アップ!

●身近なみどりを育むシンポジウム

第1部では、浜田久美子さん(作家)の基調講演「感じる力と森づくり」を、第2部では、浜田さんと区内で緑地管理ボランティアをしている方々との座談会を行いました。

●地域で育む身近なみどり

栄区公田町にある栄区独自の指定緑地の保全管理を、地域のボランティア団体と協働で実施しました。

●栄区どんぐり運動!

横浜市 150 万本植樹行動の一環として、平成19年度から実施している「栄区どんぐり運動!」を展開、区民が集めたどんぐりを苗木として育成、区民まつりや講演会などのイベントで苗木を配布し、150万本植樹行動をPRしました。



栄区どんぐり運動!
区民まつりで苗木配布

「いたち川月間」イベントとして、栄区のシンボルリバー・いたち川を盛り上げています!

●森の管理活動体験講座

区内の緑地管理ボランティア団体との協働により体験講座を開催しました。

講座の募集は区が行い、講座は、区内の3団体の定例活動日に参加する形式で実施しました。



体験講座

●いたち川大そうじ

天神橋から警察学校前まで河川敷のプロムナードを、大勢の小学生が清掃しました。

●いたち川知り隊

地域の小学生を対象に、いたち川にすんでいる魚や虫、生えている草木の観察などを区民のボランティア団体と協働で行いました。

●いたち川ギャラリー

「いたち川ギャラリー」は、いたち川に棲息する鳥、魚などの写真をいたち川沿いに展示することにより、いたち川の魅力を伝え、より親しんでいただくことを目的に開催しました。



いたち川ギャラリー

本郷台駅前 地球にやさしい広場

栄区では、本郷台駅前広場を『地球にやさしい広場』と位置づけ、「キャンドルナイト in さかえ」の開催や、本郷台駅前広場への風力発電機付きソーラー省エネ照明灯の設置、本郷台駅自転車駐車場の照明のLED化など、脱温暖化に向けた様々な取組を実施しています。

●キャンドルナイト in さかえ

電気を消して生まれる、ゆったりとした時間の中で、キャンドルを灯し、地球環境について考えたり、ライフスタイルについて見つめ直してみようと呼びかける「キャンドルナイト」イベントを、JR本郷台駅前で開催しました。2時間のライトダウン及びキャンドル点灯とミニコンサートへ約 2,800 人の来場がありました。



キャンドルナイト in さかえ

●風力発電機付きソーラー省エネ照明灯の設置

本郷台駅前広場に、風力発電と太陽光発電のハイブリッド型LED照明灯を2基設置しました。2つの自然エネルギーを電源とした照明灯です。コンセントも設置しており、環境教育や災害時の非常用電源としても活用可能です。



風力発電機付きソーラー省エネ照明灯

●本郷台駅自転車駐車場の照明のLED化

本郷台駅自転車駐車場に、省エネ効果が非常に高く、今後の普及が期待されている「蛍光灯型LED照明」を試験導入しました。(試験期間：5年間)



本郷台駅自転車駐車場

●雨水貯留タンク

本郷台駅自転車駐車場他区内 24 か所に、雨水貯留タンクを設置しました。雨水を放流せずに貯留して、植木への水やりなどに利用することは、雨水の再利用や節約という観点だけでなく、上水道や下水道を処理する場合に必要なとされるCO₂の削減にも役立ちます。

雨水貯留タンク設置場所 (24か所)

栄土木事務所 (1か所)、栄区役所 (2か所)、本郷台駅前 (4か所)、大船駅前バスターミナル (2か所)、区内保育園 (4か所)、区内小・中学校 (11か所)



雨水貯留タンク

泉 区



DATA (平成21年4月1日)

【設置年月日】昭和61年11月3日

【区 の 人 口】155,178人

【区 の 世 帯 数】59,070

【面 積】23.56km²

【区の花】あやめ

【区の木】サクラ、ハナミズキ、
キンモクセイ、アジサイ、
イモミジ、コムラサキ



太陽光発電システムの導入

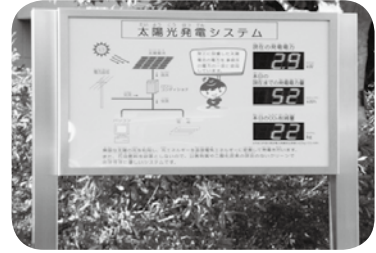
泉土木事務所の屋上に太陽光発電システム(10kW)を平成21年3月に設置しました。事務所入口に、太陽光発電状況表示板を設置し、発電力やCO₂削減量を分かりやすく表示しています。



泉区 マスコットキャラクター
"いっすん"



太陽光発電システム



電光掲示板



光エネルギーを
電気に変えて、
発電します。



蛍光灯



コピー機



パソコン

緑のカーテン普及事業

栽培講座を開催し、区内9か所で実施。泉区では、緑のカーテンが増殖中。

たくさん
とれました!
おいしかったよ



北上飯田保育園

川の環境学習



小学生に人気!
約80名が参加

和泉川・阿久和川で開催
水質検査、生物調査を実施



G30の推進



小学校での
G30スクール

講演会、地域説明会、リサイクル施設
見学会等の啓発活動の実施



瀬谷区

DATA (平成21年4月1日)

【設置年月日】 昭44年10月1日

【区の人 口】 126,757人

【区の世帯数】 49,753

【面 積】 17.11km²

【区の花】 アジサイ

【区の木】 ケヤキ



緑と水にふれあえる街づくりの推進

●育苗モデル事業「花まるプロジェクト」

区民団体が苗木や花苗を育てて地域に育苗のノウハウを伝えるとともに、瀬谷駅北口駅前広場の花壇「花いっぱい」の野外ギャラリー」等に植込み、区内に花と緑の輪を広げました。



育苗モデル事業



花いっぱいの野外ギャラリー

資源循環型まちづくりの形成

●区内一斉清掃（水緑のせやまるごと魅力アップDAY）

瀬谷市民の森では、貴重な草花を守るために、愛護会や町内会、瀬谷高校、東野中学校などのボランティアの協力のもと、せん定枝を細かく砕いた生チップを散策路に敷きつめました。



生チップ敷き

●生ごみ堆肥化事業

区内各地で生ごみ堆肥化についての学習会を開催しました。各家庭から一次処理した生ごみを持ち寄り、コンポスト容器で寝かせてできあがった堆肥は、育苗モデル事業等で活用しました。



コンポスト容器

環境教育及び環境学習の促進

●わくわく瀬谷産ごちそうさま！

地元農家及びJA横浜青壮年部の協力により、農作業体験（米、野菜）と収穫物の試食会等を実施し、自然や農業の大切さを身近に感じてもらいました。



親子で田植えを体験

●小学校（せやキッズあいごかい）、中学校ボランティア体験

区内小学校の児童が「せやキッズあいごかい」（公園愛護会「こども版」）として活動を行い、公園の使い方などの公共マナーの啓発を行いました。また、中学校の生徒が夏休みに公園愛護会と共に公園の清掃活動を行い、ボランティア体験をしました。



愛護会の方の話を熱心に聞く児童

●緑工房プロジェクト

二つ橋高等特別支援学校の生徒が授業の一環として緑の大切さを学びながらローズマリー、ブルーベリー等の苗木を育てました。また、育てた苗木は、区のイベント等で区民に配布し、緑の輪を広げました。



生徒達と育成したローズマリー